

ZENworks 2017 Update 4 新機能リファレンス

2019年1月

保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許ポリシー、および FIPS コンプライアンスの詳細については、<https://www.novell.com/company/legal/> を参照してください。

© Copyright 2008 - 2019 Micro Focus or one of its affiliates.

Micro Focus、関連会社、およびライセンサ (「Micro Focus」) の製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属する保証書に明示的に規定されたものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。Micro Focus は、本書に技術的または編集上の誤りまたは不備があっても責任を負わないものとします。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

目次

このガイドについて	5
1 ZENworks 2017 Update 3 Update 4	7
1.1 プラットフォームのサポート	7
1.2 ZENworks Configuration Management	8
1.2.1 モバイル管理	8
1.2.2 クライアント管理	10
1.3 イメージングおよびリモート管理	11
1.4 インベントリ	11
1.5 Asset Management	11
1.6 ZENworks アプリケーション	12
1.7 Endpoint Security Management	12
1.8 完全ディスク暗号化	12
1.9 パッチ管理	12
1.10 レポートニング	13

このガイドについて

この『ZENworks 新機能リファレンス』では、ZENworks 2017 リリースの新機能について説明します。このガイドは、次の章で構成されています。

- ◆ [7 ページの第 1 章「ZENworks 2017 Update 3 Update 4」](#)

対象読者

このガイドは、ZENworks 管理者を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインヘルプの各ページの下部にある、[\[このトピックに関するコメント\]](#)機能を使用してください。

その他のマニュアル

ZENworks には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。その他のマニュアルについては、[ZENworks マニュアル Web サイト](#)を参照してください。

1 ZENworks 2017 Update 3 Update 4

次の各セクションでは、ZENworks 2017 Update 4 の新機能と拡張機能を説明します。

- ◆ 7 ページのセクション 1.1 「プラットフォームのサポート」
- ◆ 8 ページのセクション 1.2 「ZENworks Configuration Management」
- ◆ 11 ページのセクション 1.3 「イメージングおよびリモート管理」
- ◆ 11 ページのセクション 1.4 「インベントリ」
- ◆ 11 ページのセクション 1.5 「Asset Management」
- ◆ 12 ページのセクション 1.6 「ZENworks アプリケーション」
- ◆ 12 ページのセクション 1.7 「Endpoint Security Management」
- ◆ 12 ページのセクション 1.8 「完全ディスク暗号化」
- ◆ 12 ページのセクション 1.9 「パッチ管理」
- ◆ 13 ページのセクション 1.10 「レポーティング」

1.1 プラットフォームのサポート

ZENworks 2017 Update 4 では、次の新しいプラットフォームがサポートされています。

- ◆ エージェントおよびプライマリサーバ
 - ◆ SLES 12 SP4
- ◆ エージェントおよびサテライトサーバ
 - ◆ Windows Server 2019
 - ◆ Windows 10 1809
 - ◆ Window 10 Enterprise LTSC 2019
 - ◆ OES 2018 SP1
 - ◆ RHEL 7.5
 - ◆ Scientific Linux 7.5
 - ◆ Mac 10.14
- ◆ モバイル：
 - ◆ iOS 12
 - ◆ Android 5 以降

システム要件の詳細については、『ZENworks 2017 システム要件』を参照してください。

1.2 ZENworks Configuration Management

- ◆ 8 ページのセクション 1.2.1 「モバイル管理」
- ◆ 10 ページのセクション 1.2.2 「クライアント管理」

1.2.1 モバイル管理

- ◆ **Android 仕事用管理デバイスの Factory Reset Protection** このリリースでは、ZENworks でユーザが設定から仕事用管理デバイスを出荷時設定にリセットするのを防止できます。ブートローダまたは fastboot などからの認証されていない出荷時設定リセットの場合は、認証する必要がある 1 つ以上の企業アカウントロック解除のホワイトリストを作成してからデバイスのセットアップを続行することもできます。

詳細については、『ZENworks 2017 Mobile Management Reference』の「Enabling Factory Reset Protection on Android Work-Managed Devices」を参照してください。

- ◆ **Android バンドルの追加情報** : [Android Bundles Summary (Android バンドルの概要)] ページ内の [アプリの詳細] セクションは、アプリバージョンとトラック、および最終発行日など、追加情報を含むように拡張されました。
- ◆ **デバイス概要の追加情報** : Android デバイスの [デバイス情報] ページに、デバイスに適用されるセキュリティパッチレベルなどの追加のソフトウェア詳細が含まれるようになりました。この情報は、生成されたモバイルインベントリレポートにも表示できます。

詳細については、『ZENworks 2017 Mobile Management Reference』の「Viewing Device Information」を参照してください。

- ◆ **デバイス管理者 API の非推奨** : このリリースでは、ZENworks は Android デバイスに対してデバイス管理者 API を使用する基本モードの登録のサポートを停止しました。これは、Android P リリースからデバイス管理者 API を非推奨にするという Google による通知が行われてから実行されます。ZENworks は、Android デバイスの 2 つの登録方法 (仕事用プロファイルモードと仕事用管理デバイスモード) をサポートするようになりました。

詳細については、<https://www.novell.com/communities/cool solutions/removal-device-admin-api-android-devices/> を参照してください。

- ◆ **Android モバイルデバイスの再起動** : 既存の再起動 / シャットダウンタスクを使用して、Android 仕事用管理デバイスを再起動できるようになりました。

詳細については、『ZENworks 2017 Mobile Management Reference』の「Reboot or Shutdown Devices」を参照してください。

- ◆ **ダイレクトブートのサポート** : このリリースでは、ZENworks は Android 7.0+ デバイスのダイレクトブートをサポートしています。この機能は、デバイスのロックを解除する前でも、ZENworks Agent が Android デバイスで常にアクティブになるようにします。管理者は、デバイスのロックを解除していない場合でも、コンプライアンスポリシーなどのポリシーの適用、仕事用プロファイルの削除、デバイスの工場出荷時設定へのリセットなどを行えます。

- ◆ **iOS エンタープライズアプリの配布** : 既存のバンドル機能を使用して、ZENworks では配布用に公開されないカスタム社内用アプリを iOS デバイスに配布できるようになりました。
詳細については、『ZENworks 2017 Mobile Management Reference』の「Distributing iOS Enterprise App」を参照してください。
- ◆ **バンドルを使用した Wi-Fi 設定の配布** : この機能により、管理者はユーザのデバイス上に Wi-Fi プロファイルバンドルを作成および展開できるようになり、これにより、ユーザは指定された wi-fi 設定を使用してデバイスを企業ネットワークに接続できます。この機能は、Android と iOS デバイスの両方で使用できます。
詳細については、『ZENworks 2017 Mobile Management Reference』の「Distributing Corporate Wi-Fi Settings」を参照してください。
- ◆ **Office 365 Android アプリ保護ポリシー** : ZENworks では、デバイスを登録しなくても、Intune SDK を使って構築された Android アプリ (Microsoft Office 365 アプリなど) を保護することができます。
詳細については、『ZENworks 2017 Mobile Management Reference』の「Creating the App Protection Policy」(Android Intune アプリ保護ポリシー) を参照してください。
- ◆ **ZENworks と Azure 間の同期** : この機能により、管理者は ZENworks Intune アプリ保護ポリシーを Microsoft Azure と同期するようにスケジュールを設定できます。
詳細については、『ZENworks 2017 Mobile Management Reference』の「Policy Sync Schedule」を参照してください。
- ◆ **新しい Android の制限のサポート** : Android の制限のリストが Android 仕事用プロファイルおよび仕事用管理デバイスの両方 (Android P デバイスを含む) に対して大幅に拡張されました。これらの制限には、デバイスキーガード機能の有効化、物理的な外部メディアのマウント、NFC ビームを使用したデータの共有、OS アップデートの制限などの設定が含まれます。
詳細については、『ZENworks 2017 Update 4 Mobile Management Reference』のセクション 12.5.2 「Applying Device Restrictions」を参照してください。
- ◆ **新しい iOS 12 の制限と DEP 設定のサポート** :
 - ◆ **新しい iOS 12 の制限** : このリリースには、日時の自動アップデート、近接内の新しいデバイスの設定、OS アップデートの遅延など、追加の iOS 12 の制限に対するサポートが含まれています。
詳細については、『ZENworks 2017 Mobile Management Reference』の「Editing a Mobile Device Control Policy Setting」を参照してください。
 - ◆ **新しい DEP 設定** : Apple TV デバイスの設定時にデフォルトの言語と地域の選択を有効にする機能をサポートするように、DEP 設定も拡張されました。また、iOS 12 DEP デバイスをセットアップするために、Screen Time、iMessage、Facetime などのセットアップ画面をスキップできます。
詳細については、『ZENworks 2017 Mobile Management Reference』の「Managing the DEP Profile」を参照してください。

- ◆ **Android 8.0+ デバイスでのパスワードのリモートリセット** : [**デバイスのロック解除**] クイックタスクでは、ユーザがデバイスの既存のパスワードを忘れた場合に、Android 8.0+ デバイスでのパスワードのリモートリセット、および新しいパスワードの設定を行うことができます。

詳細については、『ZENworks 2017 Mobile Management Reference』の「Unlocking a Device」を参照してください。

- ◆ **QR コードを使用した ZENworks アプリでの資格情報の自動入力** : ZENworks アプリログイン画面が拡張され、ユーザが QR コードをスキャンしてログイン資格情報を自動的に入力できるアイコンを含むようになりました。このアイコンをタップすると、ユーザは受領した招待レター内に埋め込まれた QR コードをスキャンする必要があり、その後ユーザはアプリにリダイレクトされ、ログイン資格情報 (パスワードは含まない) が自動的に入力されます。

詳細については、『ZENworks 2017 Mobile Management Reference』の「Enrolling Mobile Devices」を参照してください。

- ◆ **Intune アプリ保護デバイスのデバイスのワイプアクションの監査** : 管理者はユーザが Intune アプリワイプアクションの開始を監査する変更イベントを設定できるようになりました。

- ◆ **アプリカタログページの更新** : アプリカタログページに iOS アプリバンドルおよび iOS エンタープライズアプリを使用して作成されるアプリが含まれるようになりました。

すべてのモバイル管理機能の詳細については、『ZENworks 2017 Mobile Management Reference』を参照してください。

1.2.2 クライアント管理

- ◆ **位置情報タブからの Windows 10 デバイスの検索** : ZENworks のこの機能は、Windows 10 の位置情報サービスを使用して、バージョン 1709 以降の Windows 10 オペレーティングシステムで動作するデバイスの地理的な位置を特定します。ワークステーションデバイスのリンクをクリックすると、[**位置情報**] タブにアクセスできます。
- ◆ **新しいクイックタスクを使用した Windows デバイスのワイプ** : 新しい[**ワイプ**] クイックタスクは、選択した Window デバイスのオペレーティングシステムを出荷時設定にリセットし、すべての非 OS ファイルとアプリケーションをデバイスから削除します。ワークステーションのリストに Windows デバイスが選択されている場合は、クイックタスクを実装できます。この機能は、Windows 10 デバイスにのみサポートされます。
- ◆ **バンドルの新しいインストールスケジュール** : 新しいバンドルインストールスケジュールを使用して、バンドルを管理対象デバイスにインストールする日時を定義できるようになりました。
- ◆ **管理対象デバイス上で実行されているプロセスやサービスを確認する機能** : ZENworks バンドル内で、管理対象デバイス上で実行されているプロセスやサービスを確認する要件を追加できるようになりました。

- ◆ **Java 配布の変更** : このリリースでは、Java ソフトウェア配布はオープンソースプラットフォームから行います。

1.3 イメージングおよびリモート管理

- ◆ **既存の MDT バンドルへの参照** : この機能により、管理者は既存のバンドルですでにアップロードされている WIM ファイルを使用して MDT バンドルを作成できます。

『ZENworks Preboot Services and Imaging Reference』のセクション 3.8 「Configuring MDT Deployment Bundles」とセクション 5.3 「Action - MDT Deployment」を参照してください。

- ◆ **リモート管理およびイメージングの TLS 1.2 サポート** : リモートセッションは、セキュアソケットレイヤ (TLSv1.2 プロトコル) を使用して保護されます。この機能は Windows デバイスでのみ利用できます。

1.4 インベントリ

- ◆ **PRU バンドルの自動クリーンアップ** : 非表示で使用されていない古い PRU バンドルは、自動的にクリーンアップされるようになりました。

- ◆ **デバイスのイメージングの直後にインベントリスキャンを実行** : この機能により、管理者はデバイスの再イメージングの後にデバイスのフルスキャンを実行できます。スケジュール済みスキャンの完了や、後でサーバにアップロードされるデータを待機するのではなく、現在のインベントリデータに関してすぐに認識するようになり、ソフトウェアバンドルの配布などの必要なアクションを実行することができます。

詳細については、『ZENworks Asset Inventory Reference』のセクション 2.2 「Scheduling an Inventory Scan (Perform Full scan after imaging a device)」を参照してください。

- ◆ **ZCC インベントリレポートのモバイルハードウェアインベントリデータ** : モバイルデバイスに関するハードウェアインベントリ情報がインベントリテーブルに格納されるようになりました。これにより、情報が ZCC インベントリレポートで利用できるようになります。同一の処理を促進するため、新しいフィールドがインベントリレポートに追加されました。

このリリースには、インベントリ処理の改善も含まれています。

1.5 Asset Management

- ◆ **ネットワークデバイスのインポートおよび ZAM 契約へのリンク** : ADF データを含むネットワークデバイスを ZENworks コントロールセンターにインポートし、ZENworks Asset Management 契約にリンクすることができます。

詳細については、『ZENworks 検出、展開、およびリタイアリファレンス』のセクション 4 「CSV ファイルからのデバイスのインポート」を参照してください。

1.6 ZENworks アプリケーション

このリリースには、ZAPP がシエルの場合に、電源オプションを無効にする新しいレジストリキーが含まれます。

1.7 Endpoint Security Management

- ◆ **アプリケーション制御ポリシーのワイルドカードの拡張** : アプリケーション制御ポリシーに行われた拡張により、アプリケーション制御リストのワイルドカードのエントリが有効になり、設定に関するオーバーヘッドが削減され、より包括的なアクセス制御が提供されます。
- ◆ **アップデートされたストレージデバイス制御ポリシー** : ストレージデバイス制御ポリシーに行われた拡張により、ポリシーの作成と保守が簡素化され、次のリリースでより多くの制御を行う道筋をつけることができました。

1.8 完全ディスク暗号化

- ◆ **指定された再起動のための PBA のバイパス** : ディスク暗号化ポリシーと起動前認証 (PBA) の併用時に、このコマンドオプションを暗号化されたエージェントデバイスに使用して指定された回数のデバイスの起動または再起動に対して一時的に起動前認証をバイパスすることができます。この機能は、Full Disk Encryption Agent のコマンドオプションから、または `zescommand bypassPbaWithRebootCount` を使用したデバイス上のコマンドプロンプトからクライアントデバイス上で実行できます。

詳細については、『ZENworks Full Disk Encryption Agent Reference』の「Bypassing PBA for Specified Reboots」を参照してください。

1.9 パッチ管理

- ◆ **クイックタスクを使用した検疫からのデバイスパッチのリリース** : デバイス上のパッチのスケジュールされたポリシーまたは修正のインストールは検疫済みパッチには実行されません。パッチのインストールを禁止している問題が解決されたが、パッチの検疫を行う場合は、検疫済みパッチのリリースクイックタスクを使用して、デバイスで検疫済みパッチをリリースできます。検疫からリリースされるパッチは、インストールの試みが実行されるまでリリース状態のままになります。

詳細については、『ZENworks 2017 Patch Management Reference』の「Release Quarantined Patches」を参照してください。

- ◆ **パッチ管理システム変数** : パッチ管理に 2 つの新しいシステム変数が追加され、パッチ再起動動作をさらに制御し、旧バージョンの ZENworks Patch Management で設定されたパッチトレンドデータのストレージを制御するようになりました。
 - ◆ `PATCH_ALWAYS_SHOW_REBOOT_PROMPT`
この変数は、[再起動の抑制] のパッチポリシー再起動動作オプションが [はい] に設定されているときにユーザにパッチ再起動に関するプロンプトを表示します。

- ◆ PATCH_TREND_DATA_DAYS

この変数は、旧バージョンの ZENworks で設定されたパッチダッシュボードおよびトレンドデータがデータベースに格納される日数を制御します。データを格納する値を x 日に設定するか、または 0 に設定して、データの格納を無効にします。

1.10 レポーティング

管理者は ZENworks Reporting を使用して、データベースとして PostgreSQL を使用してゾーンに関してレポートできるようになりました。

